

生産性
向上正確な納期管理体制は、一貫生産を行う当社にとって必須の課題。
プロ人材を活用し、管理職への現場教育も含め能力の向上を図る

企業概要

業種	製造業（鋳物製造）
本社所在地	高知県高知市
創業年	昭和34年
代表取締役	島田 誠
従業員数	88名

主な事業の内容

創業60年来、新工場設立・先進設備導入を経て事業拡大してきた当社は、中小物の鋳物に特化し、機械部品などを製造。更に焼鈍、塗装、機械加工などの加工完成納品にも対応し、幅広いニーズに一貫生産で応えています。日本初のドイツ鋳造マイスター資格者も在籍。

企業の課題・プロフェッショナル人材を採用したきっかけ

当社の顧客ニーズとして短納期対応など、サプライヤーとしての管理能力向上の要望がある。当社の強みである鋳物製造から機械加工までの一貫生産をより生かすためにも生産管理システムの構築が必須であり、またそれによって省力化に努め生産性を向上させたい。

採用したプロフェッショナル人材

氏名	櫛山 盛朗	年齢	68歳
家族構成	妻・母親	還流ルート	その他
出身地	鹿児島県薩摩川内市宮之城町	前居住地	千葉県我孫子市
役職名等	顧問		
前職	常務取締役		

経歴

1974年 日本鋼管(株) (現 JFE スチール)

1995年 トーアスチール(株) (現 JFE 条鋼(株))

1998年 日本鋳鉄管(株)

2009年 タイ国立大学 講師 (生産工学)

2012年 長野鍛工(株) 常務取締役

2017年 当社に顧問として契約



プロフェッショナル人材の声

～新天地での活躍～

顧問
櫛山 盛朗私の経歴、経験、知識が地方の地場産業の
成長に貢献出来るならこの上ない喜びと思っています

転職に至った経緯

母親の介護のため一昨年から職を辞しておりましたが、介護施設への入所をきっかけに時間的な余裕もできたので、社会への貢献を意識し、地元我孫子市の「まちづくり協議会」でのボランティア活動をしておりました。

そのような際、ABIC（日本貿易会の組織する人材仲介組織）から、「高知県の地場企業が、工程管理・生産管理のアドバイスを求めている」との話が舞い込んでまいりました。高知県には観光で足を運んだことがある以上のご縁はありませんでしたが、求人元が鋳物メーカーでもあったことから、長年工程管理・生産管理の仕事に従事した経験や私の経歴（大手高炉メーカー、大手鋳物メーカー、自動車部品メーカー）から違和感なく取り組めそうだと感じた次第です。また経産省の事業で、タイの国立大学の工学部で日本の生産管理を教えて参りましたことから、生産管理が現実に現在の日本の企業にどれくらい活用できるのかという興味もあり応募に踏み切りました。

入社を決めた理由

知識経験が企業の成長に貢献できるかもしれないと興味を覚えたことに加え、高知県での常勤に拘らず月に1週間の出張勤務でも構わない、引越すする必要がないことは、顧問業務をお受けする際の大きな判断基準となりました。

ました。決め手となったのは、社長の「あなたが「良い」と思ったことはどんどん挑戦してください。自分でテーマを見つけ

て自由にやってほしいんです」という言葉です。現状に甘んじることなく、常に前進していく姿勢に大きな感銘を受けました。家族との今の生活に大きな変化をもたらさず、我孫子市のボランティア活動も辞めなくて済むからです。

入社前に高知に行き、トミナガの現場を視察。島田社長や主要幹部の皆さんとも面談し、会社を良くしていこう！という社長以下の熱意も感じ、私の経歴、経験、知識を活かし一緒に頑張って地方の地場産業の成長に貢献したいという思いを強くしました。

今では、自宅に戻ってからもトミナガでの課題解決や今後の取進め手順を考えることが大いなるやりがいであり楽しみとなっています。

プロフェッショナル人材が担当している業務

赴任して最初に、トミナガの受注管理システム、生産管理システムの現状把握から始めました。会社としては2年前から生産管理、工程管理の充実を目指されておられましたが、更に一段上のレベルに引き上げたいとの希望でした。システムの改善ポイントの抽出と改善案を提示していきたいと思っております。私としては大学で教えてきた、日本企業文化の典型的なパターンと思い、組織論、人材活用術、業務の効率化を含めた業務となり、大いにやりがいのあるものとなっております。今後社員の自主的な改善テーマの抽出と、解決策を自主的に出来るようになるまで貢献出来ればと思っております。



社長の声

～プロフェッショナル人材の採用の効果～

代表取締役社長
島田 誠

プロフェッショナル人材の活躍により、若手人材の育成 生産管理システムの構築による納期短縮を実現



当社は私自身5年前に先代から事業を承継し、先代時代からの技能や御取引先様を受け継ぎ従業員のみならず御取引先様の信頼を獲得できるよう事業計画を立て進めているところです。そのような状況で品質は元より当社の生産能力の把握や受注に適した生産工程が以前より課題でした。特に御取引先様から短納期対応等も求められ、当時は短納期対応どころか納期遅れによるご迷惑をおかけすることが多発しておりました。また受注から生産、出荷までの見える化や管理が円滑に出来ていないことで従業員間において情報が伝わっていないことなども問題でした。幹部の中でも当社の弱みであることを認識しており早急に生産管理システムの構築に取り組むことが必須でありました。

そこで課題解決のために外部からのプロ人材を高知県のプロフェッショナル人材戦略拠点様に問い合せたところ大手メーカーで生産管理に携わられたご経験もあり、また鋳物業界にも精通されておられる榎山さんを紹介していただきました。

榎山さんはタイ国立大学でも生産管理についての教鞭を取っているなど申し分のない人材だと思いました。まずはこの度のプロ人材の活用の際に「生産管理プロジェクトチーム」を発足し、生産管理部を中心とした各製造部門の30代、40代の若手リーダーで構成する生産管理部主導で進めることとしました。生産管理部は内部に生産管理に長けた人材がいなかったこともあり、立ち上げ時より手探り状態から始めた経緯があり、所属チームのリーダー格のスキルや意識についても不足気味でありましたが、榎山さんのご指導により人材育成の面でも効果が出てまいります。生産管理システムを構築するに当たり現状を把握することから始め、「工程の見える化」や円滑に生産できるよう「社内ルールの整備」なども進めてきました。以前からある販売管理及び鋳造生産管理システムについて、より円滑に管理できるよう管理番号の取得や受注から社内手配方法の改善など進めていきました。

これからも、榎山さんの前勤務先での生産管理の経験を活かし、当社の強みでもある鋳物生産から機械加工までの一貫生産体制をより効果的に行うことで御取引先様からの短納期に対応し、さらなる信頼獲得出来る事を期待しています。



Before：顧客別に個別フォームで工程管理



「鋳造生産管理システム」改善指導の場面



採用担当者の声

～プロフェッショナル人材採用にあたり 苦労・工夫した点～

代表取締役社長
島田 誠

当社の一貫生産の強みを生かすべく現場経験を重視、 プロ人材の顧問採用により生産管理体制の強化を目指す



若手幹部社員との勉強会風景

当社で事業計画を立てるに当たり各部門長と一緒にSWOT分析を行いました。その際、当社の弱みとして「鋳造から加工までの一貫生産の管理システム」と皆が口を揃え認識しておりました。以前に従来からある販売管理システムを生産管理と連動したシステムを構築するように進めたところ、社内ルールがしっかりと整備されていない状況での販売管理システム構築だけでは上手く運用が出来ず、一部は改善したものの生産管理も各々の部門で管理するといった従来とあまり変わらない状況のままでした。そこで「生産管理部門」を立ち上げ、生産管理システムや社内ルール化を構築するために若手人材を中心に体制を整えたものの、生産管理部担当リーダーももともとそれに携わってきた社員ではなかったため当初は外部の生産管理に長けた企業様へ見学に行く事や、それに係るセミナー等にも参加させましたが中々思うように進まず改善に向けた活動が停滞しておりました。また社内管理をコーディネートする人材に乏しかったこともあり、その頃から外部の生産管理に長けた人材を採用したいと考えました。しかしながらそのような人材をピンポイントで

採用しようにも、条件や依頼するにもハローワークや広告等による求人を出す際に、そのようなマッチした人を広く募集をかけて応募が来るかどうか不安もあり、どの伝手を使って採用に漕ぎ着けるか悩んでおりました。

丁度一昨年より事業戦略を進めて行く中で、お付き合いのある高知県産業振興センターの担当業務の方から「人材確保センター（プロフェッショナル人材戦略拠点）に掛け合ってみたら。」というので間を取り持っていただきました。そこで大企業等生産管理構築の経験ある人材を豊富に斡旋していただけたとのことで NPO 法人の ABIC 様をご紹介いただき、プロ人材である榎山さんの採用に至ることが出来ました。首都圏から地方である高知県までお越し頂く事や待遇面をどうするか、最初は条件面で折り合いが付くかどうか心配でしたが、月のうちに1週間という短い期間でのご指導を頂く「プロジェクト型人材活用」のスタイルでご了承頂いたことが良かったと思います。都心部にあるご自宅から短期間お越し頂くことがご本人にとっても良い条件でした。